

「FIRST Latin America and the Caribbean Regional Workshop on Advancing the Safe and Secure Deployment of SMRs」への参加

【経緯 / 目的】

経済産業省は、米 국무省が主導する Foundational Infrastructure for Responsible Use of Small Modular Reactor (SMR) Technology (FIRST) プログラムを支援している。FIRST は、原子力産業の力を活用し、責任ある原子炉の導入を世界的に推進しようとするもので、この一環として米 국무省は 2025 年 6 月初旬、エルサルバドルにてワークショップを開催した。

【実施内容】

JICC は、海外産業人材育成協会 (AOTS) からの依頼を受け、「日本の原子力の国民理解活動」、「福島第一原子力発電所事故後の原子力規制」についての講演等を実施し、FIRST プログラムに協力した。経産省の担当官から、「日本の原子力政策」についてのご講演をいただいた。

【成果】

ラテンアメリカおよびカリブ地域の 10 か国から計 58 名が参加し、SMR の安全かつ安心な導入に関する理解促進や、国際的なネットワーク形成の一助となった。日本が提供した講義等に変大興味を持っていただいた。また、これらの国々の原子力関係者と交流を深めることができた。



開会式での集合写真、Mr. Ryan Taugher, Deputy Assistant Secretary（米 국무省）をはじめ合計 94 名の参加者



壇上の開会挨拶者と会議参加者